

STAGE+を楽しむ(151)(HP 収載)
—「エクスペディション・コンサート」 Vol.2—

1. 始めに

前報(150)に引き続き、STAGE+のマルヴィッツの「エクスペディション・コンサート」 Vol.2 の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、マルヴィッツの「エクスペディション・コンサート」 Vol.2 の演奏を選びました。

マルヴィッツの「エクスペディション・コンサート」 Vol.2

交響曲第4番《イタリア》

収録日: 2023年11月19日

2023年シーズンからベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団首席指揮者となったヨアナ・マルヴィッツ。彼女は指揮者がプログラムを演奏する前に解説を披露する「エクスペディション・コンサート」をスタートしました。本映像は、この意欲的な試みの第2弾の様態です。曲はメンデルスゾーンの交響曲第4番《イタリア》。マルヴィッツは詳細な図解を用いて、観客が作品とさらに近づけるように紐解いていきます。世界的に愛されるメンデルスゾーンの傑作交響曲の知られざる魅力を、色彩豊かに紡がれる演奏と共にお楽しみください。

演奏:

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

指揮:

ヨアナ・マルヴィッツ

曲目:

フェリックス・メンデルスゾーン 交響曲第4番《イタリア》マルヴィッツによる
解説

フェリックス・メンデルスゾーン 交響曲第4番イ長調 op. 90《イタリア》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーター に対するCDクリーナーの処理を行っています。今回、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンプ端子を装着しています。

マルヴィッツが曲の解説と演奏を行う、「エクスペディション・コンサート」の第1回のストラヴィンスキーの《春の祭典》に続く2回目で、交響曲第4番《イタリア》が取り上げられています。前半が解説で、後半が通しの演奏になります。

解説は、ところどころにオーケストラとマルヴィッツのピアノを挟みながらの解説ですが、ドイツ語で英語の字幕もないので、ほとんどとらえることができません。通しの演奏は、軽快な第1楽章、憂愁の趣の第2楽章、抒情的な第3楽章、アップテンポでダイナミックな第4楽章と表情を変える展開を、マルヴィッツのきびきびとした指揮の下、進めていきます。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LANポートにフェルトダンプ端子を装着したことで、解説の方は追従できませんでしたが、通しの演奏は、楽章毎に表情の変わる展開が表現されていきます。

以上